## 第2次能代市スポーツ推進計画 (2019 年度~2023 年度)









能代市教育委員会

## 目 次

第1章	計画	定にあたって	
	1	5定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	2	一画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	3	・画期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
第2章	現状	課題、前計画の点検・評価	
	1	引状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	2	汀計画の点検・評価 ⋯⋯⋯⋯	5
第3章	計画	基本的な考え方	
	1	<u></u> 本方針 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	2	本的施策 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	9
	-1 <del></del>	*** O +	
第4章	計画	進のための取組	
	4		4.4
	1	▲本的施策と具体的な取組 · · · · · · · ▶主体の役割 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	2	↑土体の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
資料			
人 17	資米	用語解説 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1 7
	資料		
	資料		
	谷米		

## 第1章 計画策定にあたって

## 1 策定の趣旨

我が国においては、平成23年8月にスポーツ振興法を50年ぶりに全部改正し、スポーツ基本法を施行しました。さらに、同法に基づき、平成24年3月にスポーツ基本計画、平成29年3月には新たに第2期スポーツ基本計画を策定するなど、国、地方公共団体、スポーツ関係団体等の関係者が一体となってスポーツ政策を推進していく基本方針を示しています。

また、平成25年9月には2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、国内では「スポーツを通じて日本を元気に」という気運が高まっているところであり、平成27年10月にはスポーツ行政を総合的・一体的に推進するため、文部科学省の外局としてスポーツ庁\*1を設置しています。

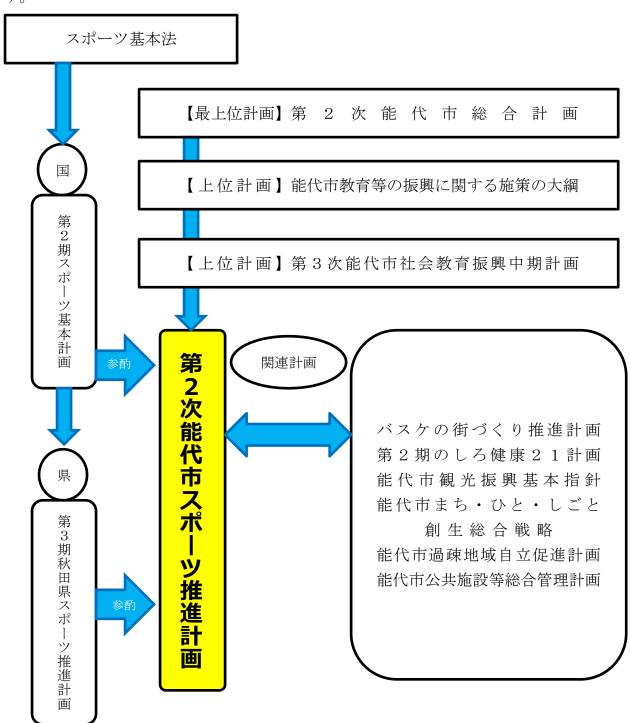
一方、本市では、平成27年2月にスポーツ振興に関する基本的計画として「能代市スポーツ推進計画(平成27~30年度)」を策定し、「スポーツを通じてすべての市民が生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、幸福で豊かな生活を営む元気なまち」を目指し、各種スポーツ施策を推進してきました。

また、チャレンジデー\*2やきみまち二ツ井マラソン、バスケの街づくり、スポーツ施設の大規模改修など各種スポーツ施策の展開により、市民のスポーツや健康づくりに対する関心が高まるとともに、スポーツ振興による地域活性化が大きく期待されています。

本市のスポーツ活動の現状から、これまでの各種スポーツ施策の課題を整理し、毎年度、県や市が実施しているスポーツ実態調査や市民意識調査の結果をもとに、本市のスポーツを取り巻く環境の変化や国の動向を見据えて推進計画の見直しを行い、さらに、スポーツの力を活用した地域活力の創出の視点を加え、今後のスポーツ施策を総合的かつ計画的に推進するため、新たに第2次能代市スポーツ推進計画を策定しようとするものです。

#### 2 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第10条に規定する「地方スポーツ推進計画」として、第2次能代市総合計画を最上位計画とし、同計画の「気軽に親しみ楽しめるスポーツ」の政策の趣旨と整合性を図るとともに、「バスケの街づくり推進計画」及び「第2期のしろ健康21計画」等を関連計画と位置づけて策定します。



## 3 計画期間

計画の期間は2019年度から2023年度までの5年間とし、基本的には 上位計画である第3次能代市社会教育振興中期計画の見直しの翌年度までとし ます。



のしろチャレンジデー総合開会式



ユニカール体験交流会

## 第2章 現状と課題、前計画の点検・評価

## 1 現状と課題

少子高齢化による人口減少が急速に進行する中で、本市ではスポーツ少年団\*3の団員数の減少や、団の統廃合など、団体競技において必要人数を確保することが困難になりつつあります。

また、子どもを取り巻く環境の変化により、日常生活で体を動かす機会が減少している傾向にあり、積極的にスポーツをする子どもとの二極化が見られます。こうした中、子ども達の基礎的な運動能力や様々な体力要素を高めるためには、体力の現状や課題を分析し、学校教育での取組のほか、家庭や地域と連携して、体力向上につなげていく必要があります。

次に、成人のスポーツ活動については、スポーツ実施率の低い世代(男性:40代後半、女性:20代~40代前半)のスポーツ活動を向上させることを目指し、親子連れでも気軽に参加できるスポーツ教室や大会を開催するなど、ライフステージに応じた取り組みやすいスポーツプログラムの活用と普及が求められています。

本市では、高齢化率の上昇に伴う医療費や介護費等の増加、地域活力の低下が懸念されることから、一人一人が年齢や身体状況に合った運動・スポーツを楽しみながら、地域社会へ参加し、健康寿命\*\*4の延伸につながる取組が必要とされています。

現在、市が所管するスポーツ施設は、老朽化が進んでいる施設も多いことから、市民が気軽にスポーツに親しみ、障がいの有無に関わらず利用できるスポーツ施設となるよう、利用者の利便性や地域の実情に応じた設備の充実を図り、適切な管理と計画的な整備を進めていくことが求められます。

全国大会レベルの大会の誘致・支援やスポーツ合宿など、スポーツを通じた 交流人口の拡大は、観光振興や、地域活性化等の面でも大きな効果が期待でき ることから、市内スポーツ施設を有効活用し、積極的に大会の開催誘致等に取 り組む必要があります。

また、より多くの市民が、各種大会やスポーツイベント等へ参加できるしく みづくりのため、各団体と横断的な日程調整を行い、迅速できめ細やかな情報 提供が必要です。

市民ニーズやライフステージに応じたスポーツ情報の発信や、これまでの情報発信方法に加え、時代に合わせた効率的な発信方法を検討していくことで、スポーツへの参加のきっかけを生み出すことが期待されます。

#### 2 前計画の点検・評価

本市では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会自らが、教育行政事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、客観性を確保するため、教育に関する学識経験者からの意見も踏まえた上で、その結果を報告書にまとめ、公表しています。

本計画の策定にあたっては、この事務点検・評価をもって課題を整理し、以下のとおりとりまとめました。

#### ①学校と地域における子どものスポーツ機会の充実

#### 方針・目標

心身ともに健康な大人となる基礎をつくるため、学校体育と地域のスポーツ 活動の充実を図り、体力の向上を図ります。

#### 点検・評価 【ほぼ目標どおり】

子どもの体力向上を推進するため、関係団体や、学校・スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ\*\*5との連携を図り、スポーツ教室等を開催し、運動の習慣化に向けた取組を実施しています。

また、新体力テストの分析結果を小中学校の体育学習指導に活かし、運動能力の向上につながる運動経験を、授業や休み時間の遊びの中に積極的に取り入れ、県の指導者派遣事業等を活用し、専門的な知識や技能を学ぶ機会も取り入れています。

子ども達のスポーツ参加機会の充実を図るため、スポーツ少年団活動の組織強化のための支援や選手派遣費の支援を行い、適切で円滑な運営を推進しています。

今後も関係団体や学校等と連携しながら、学校における体育学習の充実や、 地域のスポーツ参加の機会を確保し、子ども達の体力向上に向けた取組を進 めていく必要があります。



スポレクフェスタのしろ ニュースポーツ「ピロポロ」

#### ②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

#### 方針・目標

市民が、体力や年齢等に応じて、安全にスポーツに親しむことができるように、スポーツへの参加を促進する機会や環境の整備を推進します。

#### 点検・評価 【目標をやや下回る】

市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、興味・目的などに応じて、安全にスポーツに親しむことができるように、高齢者も、障がい者も、様々な人たちが世代を超えてスポーツに取り組み、各種イベントやスポーツ教室が開催されています。

成人の週1回以上のスポーツ実施率(市民意識調査 $^{*6}$ )は、目標値の60%にはまだ届かないものの、前年度より、0.3ポイントの増となり、成果をあげています。 $^{**}$ 30年度50.7%(29年度50.4%)

チャレンジデーは、スポーツだけでなく健康づくり、地域の絆づくりに効果的であり、参加率も回数を重ねる毎に増加してきていることから、さらに関係団体や地域との連携を深め、参加率の向上とスポーツの習慣化を図っていく必要があります。

#### ③スポーツを活用した地域の活性化

#### 方針・目標

スポーツを通じた交流による、人々の一体感の醸成と活力ある地域社会の実現を目指します。

#### 点検・評価 【ほぼ目標どおり】

「バスケの街づくり」事業では、各種バスケット大会の開催やBリーグ秋田ノーザンハピネッツのホームゲームの開催支援や、屋外バスケットリングの設置、能代カップの際の、特別展やトークショーの開催など、スポーツ大会やイベントと連動し、誘客を図っています。

きみまち二ツ井マラソンでは、毎年約2,000人のランナーが県内外から訪れ、 スポーツによる交流人口の拡大につながっています。

また、関係団体、地元企業等と連携し、マラソンとあわせて開催される物産フェア(きみまちの里フェスティバル)では、2日間で延べ約12,000人の来場者が訪れ、地域のにぎわい創出にもつながっています。

東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を契機として、日本代表選手の活躍はもとより、合宿誘致や観光客の誘客など、交流人口の拡大による経済効果などにも期待と関心が高まる中で、今後も継続してスポーツを活用した地域の活性化への取組を進めていく必要があります。

#### ④市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備

#### 方針・目標

指導者や施設の充実等、市民が主体的に参画するスポーツ環境を整備します。

#### 点検・評価 【ほぼ目標どおり】

スポーツ環境を整備する上で指導者の養成・確保は重要であり、研修会参加等の支援を行い、市スポーツ少年団の講師派遣型スポーツセミナーを実施しています。

また、スポーツ施設については、市民が体力づくりや健康づくりなど、いつでも目的に応じて気軽に利用できる、地域コミュニティの場としての活用を目指し、アンケート結果を反映して改善に努めるなど、利用者ニーズへの対応を図っています。

施設の整備・改修は、今後も各施設の劣化状況を把握し、傷みが軽度のうちに修繕及び改修することが必要とされています。

また、大規模改修等については、公共施設等総合管理計画\*<sup>7</sup>に基づき計画 的に実施する必要があります。





二ツ井町総合体育館

## 第3章 計画の基本的な考え方

## 1 基本方針

第2次能代市総合計画において「元気で魅力あるまち」を掲げていることから、スポーツによって「元気で魅力あるまち」を目指します。

#### スポーツによって「元気で魅力あるまち」を目指します

本市は国・県計画を参酌し、市の最上位計画である「第2次能代市総合計画」 の主にスポーツ・健康づくりに関わる目標の達成に向け、関係団体と連携・協 働していくための計画として本計画を位置づけます。

本計画では、「する」「みる」「ささえる」スポーツの環境を充実させ、心身の健康づくりを推進するとともに、スポーツを通じて「地域活力」を創り出し、 交流人口の拡大を目指します。

#### ○目標指標 (第2次能代市総合計画より)

【気軽に親しみ楽しめるスポーツ】

指標	基準値	5年後の目標 (2022年度)	目標値設置の 考え方
週1回以上スポーツに親しんでいる 市民の割合 (市民意識調査)	50.4% (2017年度)	60.0%	前計画の目標値を目指す
優良競技者・団体表彰数 (栄光賞)	278人 (2016年度)	300人	基準値を上回る水準を目指す
スポーツ施設年間利用者数	322,946人 (2016年度)	350,000人	基準値を上回る水準を目指す

#### 【心豊かな暮らしを支える健康づくり】

指標	基準値	5年後の目標 (2022年度)	目標値設置の 考え方
からだが健康だと思う市民の割合 (市民意識調査)	61.6% (2017年度)	70.0%	前計画の目標値を目指す
心が健康だと思う市民の割合 (市民意識調査)	58.6% (2017年度)	70.0%	前計画の目標値を目指す

## 2 基本的施策

#### 1「する」スポーツの充実

- 1-① 生涯スポーツの充実と競技力向上を目指します
- 2-① スポーツに触れる機会の充実を図ります

#### 2「みる」スポーツの充実

2-① スポーツに触れる機会の充実を図ります

#### 3「ささえる」スポーツの充実

3-① 支援体制の充実を図ります

#### 4 スポーツによる「地域活力」の創出

4-① スポーツによって地域活力を創り出します



第23回スポーツ医科学研修講座兼能代市スポーツ少年団指導者研修会

10

## 1 基本的施策と具体的な取組

1「する」スポーツの充実

- 1-① 生涯スポーツの充実と競技力向上を目指します
- 2-① スポーツに触れる機会の充実を図ります

具体的な取組				
・気軽に参加できるスポーツ教室の開催	ライフステージや身体状況等に応じて、市民の誰もが 運動やスポーツの楽しさを気軽に体験できるスポーツ 教室を開催します。			
・市民総参加型 スポーツイベントの開催	チャレンジデー等のスポーツイベントの充実を図り、 運動やスポーツを始めるきっかけづくりや、地域の活 性化につながる取組を進めます。			
・学校体育の推進	児童・生徒が運動やスポーツを楽しみながら、心と体 を育むために、体育の授業や業間活動・運動部活動等 の充実・改善を図ります。			
・地域スポーツ活動の振興	地域住民が世代を超え、主体的に運動やスポーツに取り組み、相互の絆を深めることができるよう、地域スポーツ大会等の開催を支援します。			
・健康づくり運動の推進	健康づくりに関する教室やニュースポーツ <sup>※8</sup> 教室の開催等により、運動習慣の定着を図り、生活習慣病の予防や体力づくりなど、市民の健康増進につながる取組を推進します。			
・スポーツ少年団活動の推進	子どもの体力向上やスポーツの楽しさを経験する上で 重要な役割を担っているスポーツ少年団の活動を支援 し、少子化が進む中でも継続してスポーツ活動に取り 組むことができるよう努めます。			
・冬季スポーツの推進	地域資源を活用した、冬季ならではの運動や外遊びなど、屋外での運動時間の確保のほか、スキーをはじめとした冬季スポーツの振興に取り組みます。			
・トップスポーツクラブ との連携	地元と関わりのあるトップスポーツクラブ <sup>※9</sup> や、アスリートと連携し、スポーツ教室やイベント等を開催することにより、市民、特に子ども達に夢を与え、競技力の向上を図ります。			

#### 2「みる」スポーツの充実

#### 2-① スポーツに触れる機会の充実を図ります

#### 具体的な取組

・全国大会レベルの 大会誘致・支援

全国から多くの人が参加・観戦する大会を誘致・支援し、市民のスポーツへの意識や関心を高め、スポーツを通じた交流人口の拡大や競技者の競技力向上を図ります。



B.LEAGUE公式戦 2018-19シーズン 「秋田ノーザンハピネッツ VS 新潟アルビレックスBB」

## 3 「ささえる」スポーツの充実

## 3-① 支援体制の充実を図ります

具体的な取組				
・スポーツ推進委員の育成・連携	スポーツ推進委員の人材確保と資質向上を図るため、 研修会等への派遣を実施し、委員が主体的に活動でき る体制を整えます。			
・指導者の育成・支援	講習会等の実施により、スポーツ指導者の育成を図り、競技力向上とスポーツにおける安全性確保に努めます。			
・スポーツボランティア の育成・支援	スポーツを側面から支援・協力するために必要不可欠 であるスポーツボランティアの活動を周知・支援し、 受入体制の構築を推進します。			
・各種補助・表彰制度の 充実	競技団体等への大会開催費補助金の交付や、上位大会 出場者に対して表彰を行うことにより、市民の体育・ スポーツの普及、奨励、競技力の向上を図ります。			
・指定管理者との 連携強化	スポーツ施設の指定管理者と連携し、民間のノウハウを活かしたサービスの提供や、安全で安心な管理運営を目指し、スポーツ環境の充実に努めます。			
・スポーツ施設の計画的整備	スポーツ施設の有効活用を図るとともに、利用者が快 適に利用できるよう計画的な整備・改修に取り組み、 安全で利便性の高い施設の充実を図ります。			
・学校体育施設の 利用促進	地域におけるスポーツ活動の場として、学校体育施設の有効活用を図ります。			
・各種スポーツに関する 情報提供	運動やスポーツに対する無関心層も含めた、多くの市 民がスポーツへの関心を高め、スポーツ参加のきっか けづくりとなるよう、幅広い情報の提供に努めます。			

4 スポーツによる 「地域活力」の創出

#### 4-① スポーツによって地域活力を創り出します

具体的な取組				
・バスケの街づくりの 推進	バスケットボールを核にした地域振興を通じて、市民 の一体感の醸成や本市のイメージアップを図り、ス ポーツの力によるまちづくりを推進します。			
・特色あるスポーツ事業 による交流人口の拡大	能代カップやきみまち二ツ井マラソンをはじめとする スポーツイベントの支援等、特色あるスポーツ事業に よるまちづくりを展開し、交流人口の拡大を図りま す。			
・総合型地域スポーツ クラブの育成・支援	身近な地域で気軽にスポーツを楽しむことができる総合型地域スポーツクラブと情報共有するとともに、各クラブの持続的な活動に向けて、情報発信等による支援を行います。			
・スポーツ合宿の推進	スポーツ合宿の誘致は、経済波及効果や人的交流の拡 大が期待されることから、積極的な誘致活動を推進し ます。			



きみまち雪っこスポーツまつり「雪上サッカー」



フェンシング・クリニック

#### 2 各主体の役割

本計画の推進にあたっては、行政だけでなく、市民や地域の様々なスポーツ団体、 関係機関等が、互いに連携を図り、それぞれが主体的にスポーツ推進の担い手として 取り組んでいくことが重要です。そのため、以下のように相互に連携しながら、効果 的な計画の推進を図っていきます。

#### 1 市民

スポーツ活動の主役として、スポーツを楽しむだけでなく、スポーツに対する関心や理解を深め、一人一人が生涯にわたって様々なスポーツに親しみ、積極的に参加していくことが期待されます。

#### 2 家庭

家庭においては、運動不足になりがちな子ども達や運動が苦手な子ども達の現状を踏まえ、身近な場所での遊びを大切にし、スポーツを見たり、地域のスポーツ行事に積極的に参加したりするなど、体を動かす機会やスポーツに親しむ機会の充実を図ることが期待されます。

#### 3 幼稚園・保育園・認定こども園・小中高等学校等

子ども達の発達段階に応じて、体力・運動能力の向上を図るとともに、生涯にわたりスポーツに親しむきっかけづくりの場としての役割を担います。

体育の授業や運動部活動の充実を図り、運動する機会を確保します。また、 地域の身近なスポーツ活動の場として、学校体育施設を開放するなど有意義 な利活用が期待されます。

#### 4 団体及び組織

#### ①スポーツ関係団体

多くの市民が気軽に参加できるよう、多世代が楽しめる各種スポーツ活動の充実を図るとともに、とりわけ子ども達の参加については成長過程を踏まえた体力の向上と適切な指導に配慮し、スポーツ推進へ取り組むことが期待されます。

#### ②スポーツ推進委員

地域住民に対し、スポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導など助言を行います。また、行政と市民とのパイプ役となり、日頃スポーツをしない人への動機付けやスポーツの楽しみ方の啓発などを通じて、本計画の推進を図っていく役割が期待されます。

#### ③総合型地域スポーツクラブ

地域住民により、自主的に運営され、年齢や体力、目的に応じて様々な種目のスポーツに親しむことができる身近な組織として、スポーツ振興だけでなく、健康づくりや生きがいづくりにもつながる活動が期待されます。

#### 4健康推進員

各種運動教室や、健康イベントに積極的に参加するとともに、地域住民へも参加を呼びかけ、健康増進の意識づけや、体を動かすことへの関心を喚起する取組により、生活習慣病予防及び寝たきり防止等、運動・スポーツを通じた健康づくりの推進が期待されます。

#### 5 市

計画の推進においては、生涯学習・スポーツ振興課を中心に、健康づくりの関係部局と密に連携し、スポーツ環境の充実と心身の健康づくりを推進します。また、スポーツ関係団体やスポーツ推進委員等と連携し、市民が様々なスポーツ活動や健康づくりに取り組みやすい環境づくりに努めます。

# 第2次能代市スポーツ推進計画 資料

#### 資料

70

#### 用語解説

#### ※1 スポーツ庁(P1)

スポーツの振興その他のスポーツに関する施策の総合的な推進を図ることを目的に、文部科学省の外局として平成27年10月1日に設置された行政機関です。

#### ※2 チャレンジデー(P1)

毎年5月の最終水曜日に、人口規模の近い自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分間以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の「参加率 (%)」を競い合う住民総参加型のスポーツイベントです。

#### ※3 スポーツ少年団(P4)

子ども達が自由時間に、地域社会の中でスポーツを中心としたグループ活動を行う団体で、それぞれの団が自主的で主体性をもった活動を展開しています。

子ども達の体力向上や社会性を身につけさせること、生涯にわたりスポーツを行う習慣を養うことを目的としています。

#### ※4 健康寿命(P4)

病気で寝たきりになったり介護を受けたりせず、生活に支障なく健康に暮らせる 期間のことです。

#### ※5 総合型地域スポーツクラブ(P5)

子どもから高齢者までの幅広い世代の人々が、各自の興味・関心や技術レベルに 応じて、様々なスポーツに触れる機会を提供し、地域住民により自主的・主体的に 運営される地域密着型のスポーツクラブです。

#### ※6 市民意識調査(P6)

幅広い年齢層の方を対象に、生活環境や市の施策などについて、どのように考え、 感じているかについて把握し、その効果や改善策、新たな取組などを検討する際の 参考にするものです。

#### ※7 公共施設等総合管理計画(P7)

市の公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・ 長寿命化などに取り組むことを目的とした計画です。

#### ※8 ニュースポーツ(P11)

誰もが気軽に楽しく取り組めるスポーツとして考案されたもので、現在多くの愛好者がフロアカーリングやミニテニス、ソフトバレーボールなどのニュースポーツを楽しんでいます。

#### ※9 トップスポーツクラブ(P11)

地域に密着したトップレベルのスポーツクラブ。本市では、秋田県をホームチームとするプロスポーツチーム「秋田ノーザンハピネッツ (バスケット)」、「ブラウブリッツ秋田 (サッカー)」と連携し、各種イベントやスポーツ教室を開催しています。

#### 資料

2

#### 平成30年度市民意識調査結果(概要)

平成30年6月に市内在住の満18歳以上の男女2,000人へ市民意識調査を実施し、「健康状態について」と「スポーツを行っている頻度」に関する項目の過去5年間の結果をもとに比較検討を行い、現状分析を行いました。

#### 調査概要

・調査対象:能代市在住で、満18歳以上の男女2,000人

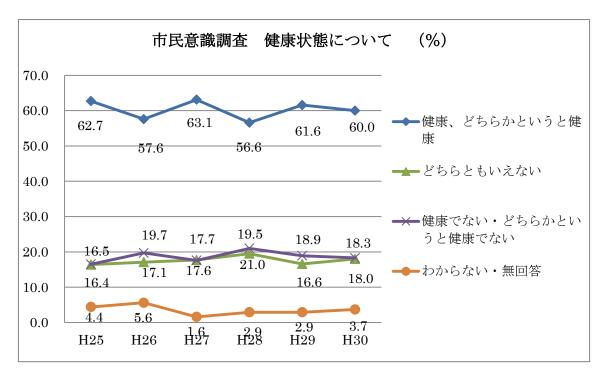
・抽出方法:住民基本台帳から年代別に等間隔、無作為抽出方法

・調査方法:郵送による回答方式

調査期間:平成30年6月22日(金)~7月12日(木)

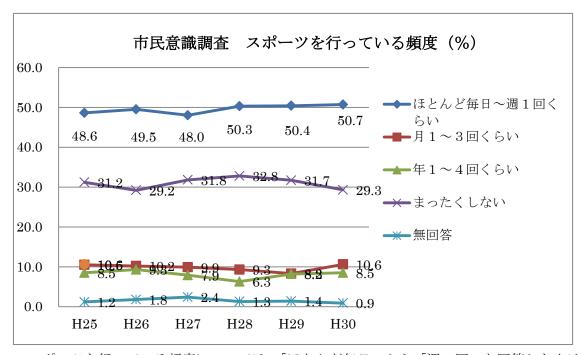
·回収率:40.7%(813人)

#### 問:あなたのからだの健康状態は。



健康状態については、「健康である」「どちらかといえば健康である」と回答した人は6割以上で、"自分は健康である"と感じています。一方、「健康でない・どちらかというと健康でない」と感じている人の割合は減少傾向にあります。

#### 問:どれくらいの頻度で運動・スポーツをしているか。



スポーツを行っている頻度については、「ほとんど毎日」から「週1回」と回答した人は50.7%と増加しており、「月1回~3回くらい」、「年1~4回くらい」と回答した人の割合も増加傾向にあります。一方、「まったくしない」と回答した人の割合は減少傾向にあることから、全体的に見ても日常的に運動・スポーツする人の割合が増加していることが分かります。第1次計画においては、成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人(65%)となることを数値目標としていましたが、第2次計画では、最上位計画となる第2次能代市総合計画の目標指標に設定している「週1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合」である60%を経年的なスポーツ実施率の目安とします。

#### 〇目標指標 (第2次能代市総合計画より) 【気軽に親しみ楽しめるスポーツ】

指標	基準値	5年後の目標 (2022年度)	目標値設置の 考え方
週1回以上スポーツに親しんでいる 市民の割合(市民意識調査)	50.4% (2017年度)	60.0%	前計画の目標値を目指す
優良競技者・団体表彰数(栄光賞)	278人 (2016年度)	300人	基準値を上回る水準を目指す
スポーツ施設年間利用者数	322, 946人 (2016年度)	350,000人	基準値を上回る水準を目指す

## 資料

2

## 計画策定経過

#### 平成30年

月	日	策定作業	
9月	9.7.0	教育委員会定例会(策定委員会委員委嘱について)	
	27日	第1回策定委員会開催(委嘱・骨子案審議)	
10月		各委員(団体)から意見等聴取	
		市民意識調査結果の分析	
11月	96 🗆	教育委員会定例会 (検討案配布・事務報告)	
	26日	庁内各課へ意見聴取	
12月	3 日	第2回策定委員会(検討案審議)	
	13日	12月議会文教民生委員会 (素案配布・事務報告)	
	20日	社会教育委員の会議(素案配布・事務報告)	
	21日	パブリックコメント実施(~平成31年1月20日まで)	

#### 平成31年

月日		策定作業
1月	20日	パブリックコメント受付終了
	3 1 日	第3回策定委員会(計画案審議)
2月	18日	教育委員会定例会(決議)
3月	下旬	関係機関、団体等に周知・配布

## 資料

4

## 策定委員会委員名簿

(五十音順)

		(五十音順)
氏 名	団体名	役職
あおやま まさお 青 山 正 夫	特定非営利活動法人 能代市体育協会	理事長兼事務局長
いょぎ としまさ 五代儀 敏 正	能代市校長会	研究部副部長
おおつか ひろのり 大塚 博徳	JCHO秋田病院	日本スポーツ協会認定 スポーツドクター
こばやし えいこ 小 林 詠 子	能代市健康推進員協議会	副会長
さとう しげお 佐 藤 重 夫	能代市スポーツ少年団本部	本部長
さとう たかし 佐藤 崇史	能代市スポーツ推進委員会	委員長
すずき よういち 鈴 木 洋 一	能代市中学校体育連盟	副会長
たけだ みっこ 武 田 光 子	東能代地区 にこにこスポーツクラブ	事務局員
まじた ひろこ 藤 田 弘 子	特定非営利活動法人 スポカルきみまち	理事・ クラブマネージャー
やまざき かずひこ 山 崎 一 彦	常盤の里スポーツクラブ	会 長

## 第2次能代市スポーツ推進計画

発行日 平成31年2月18日

発行者 能代市教育委員会 生涯学習・スポーツ振興課

〒018-3192 能代市二ツ井町字上台1-1

電話:0185-73-3221

MAIL: shou-supo@city.noshiro.lg.jp